

第 193 号 内容紹介

1 , 大西広「トランプ発言に表れた核兵器正当化論」

人類にたいして核兵器を使用した唯一の犯罪国の責任がなぜ追及されないのか。核兵器禁止を実効あるものにするためには、核兵器を正当化した戦後支配体制との対抗はさげられない。

2 , 2025 チャゴス諸島返還協定と島民のたたかい

英国政府は、領有していたチャゴス群島の主権をモーリシャスに返還する協定を締結した。ディエゴ・ガルシアの米軍基地は残されたままだが、協定の内容と、基地問題専門家による島民のたたかいを解説する。

3 , W・ベロー「バンドン精神の今日的意義を確認する」

世界は新しい時代をむかえているが、その精神が今日に生かされるためには、グローバルサウスはなお過去 500 年の悪夢からの目覚めが必要。フィリピンの第三世界論者らによる課題の提起。

4 , L・ジョンソン「イスラエル側の産業・経済被害は甚大」

米イスラエルのイラン攻撃は 12 日間で終結したが、イランの長音速弾道ミサイルによる反撃により、イスラエルの施設や軍事基地が大きな被害を受けた。西側マスコミが伝えない実情を、元 CIA の分析官が解説。

5 , P・ヘンスラ「自衛のジェノサイド/共犯の西側メディア」

現在の大量虐殺を欧米の権力者は「自衛」として助長し、正当化している。批判者を「反ユダヤ主義」と攻撃する西側メディアは共犯者だ。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala news の編集日記 \(livedoo n a 愛用紹介 r.jp\)](#))